



謹んで年頭のご挨拶を申しあげます

秋田なまはげ農業協同組合 代表理事組合長 京極 芳郎

あけましておめでとうござい
ます。昨年中は当丁A事業へ特段
のご理解とご協力を賜り、厚く御
礼申しあげます。

昨年は新型コロナウイルス感染
症の流行という、かつてない事態
に頭を悩ませた年でありまし
た。催事の中止や移動の自粛、休
校措置などに伴い、観光業や外
食業、業務用の需要が落ち込ん
だことで農産物の販売への影響が
懸念され、農業に携わる皆様に
とっては不安が拭えない一年だっ
たことと思えます。この未曾有の
事態のなかでも、品質の高い農産
物の安定生産にご努力くださっ
た生産者の皆様と、消費喚起活
動や販路の確保にご尽力くだ
された関係者の方々に、深く感謝
を申しあげます。

横手市で開かれた第143回
秋田県種苗交換会で、石井健さ
んの株大豆「リュウホウ」が農林
水産大臣賞を受賞し、ダリアで
3年連続1等賞に輝いた古屋久
勝さんに顕彰状が贈られたこと
などからも、管内の生産者が持
つ栽培技術の高さがうかがえま
した。

新型コロナウイルスへの対策と
しましては、各種行事の開催や訪
問活動では情勢に鑑みながら従
来の方法からの調整を図ってお
り、各窓口では仕切りや消毒液の
設置、一部営業時間の短縮など
を行っております。今年も引き続
き、皆様へ安定的かつ継続的な
サービスを提供するため、利用者
の皆様と職員の安心を第一に考
えた運営に努めてまいります。

昨年は秋田米新品種「サキホコ
レ」や、県内出身者では初の就任
となる菅義偉総理大臣の話題な
どが、秋田を賑わせました。管内
でも作付けが予定されている「サ
キホコレ」は2022年のデビュー
に向けた準備が着々と進んでお
り、この新品種が次世代の秋田の
農業を牽引するとともに、今年
も県内の農業が明るい話題で盛
り上がることを衷心より願って
おります。

農業や丁Aを取り巻く環境は
依然厳しい状態にあり、行政や関
係団体と力を合わせながら、多
くの課題に対応していかなけれ
ばなりません。この困難に立ち向
かうべく、現在丁Aグループ秋田
では、組織再編にかかる協議が進
められています。当丁Aとしても

経営基盤の強化を図り、組合員
の皆様とともに、秋田の農業を次
世代に継承するため尽力してま
いります。また、「SDGs(持続可
能な開発目標)」の期限とされる
2030年まであと10年を切り、
目標の達成に向けた活動が世界
的に熱を帯びてきています。当丁
Aは相互扶助の精神と丁Aが持
つ多面的機能を活かしながら、
持続可能な農業生産体制の振興
と地域に根ざした活動に取り組
み、管内の農業と社会の発展に寄
与していく所存でございます。

結びに、本年も変わらぬご理
解とご協力を賜りますようお願い
い申しあげますとともに、皆様の
一層のご多幸とご健勝をお祈り
申しあげ、新年のご挨拶とさせて
いただきます。